

# 林業ミニ情報 No.169

令和5年3月

- 1 茨城県緑の少年団活動コンクールにおいて  
生瀬緑の少年団が優秀賞を受賞 . . . . . 1  
(大子林業指導所 小松)
- 2 村松晴嵐「クロマツ林」リジェネプロジェクト  
～クロマツ植樹体験～が開催される . . . . . 2  
(水戸林業指導所 山口)

タイトル	茨城県緑の少年団活動コンクールにおいて 生瀬緑の少年団が優秀賞を受賞
年月日	令和5年2月4日（土）
場所	セキショウ・ウェルビーイング福祉会館（水戸市）
内容	<p>令和5年2月4日（土）に、セキショウ・ウェルビーイング福祉会館で開催された令和4年度茨城県緑の少年団活動コンクール（主催：公益社団法人茨城県森林・林業協会、茨城県緑の少年団育成協議会）において、生瀬緑の少年団（太子町立生瀬小学校）が優秀賞（茨城県知事賞）を受賞しました。</p> <p>当コンクールは、緑の少年団の相互研さんを目的として毎年度開催されており、今回は、令和5年11月に本県で開催される第46回全国育樹祭を記念して、県内各地域の代表となった6つの緑の少年団が一堂に会し、日頃の活動内容を発表しました。</p> <p>生瀬緑の少年団では、団員を代表して5年生が取り組んだ活動として、学校林「ふれあいの森林（もり）」の遊歩道の整備、看板の設置などの奉仕活動、ベンチ、ネームプレート設置のほか音楽会などのレクリエーション活動、さらに、森林・林業体験学習として当指導所が指導した間伐体験や原木しいたけ植菌体験などについて、写真や動画を活用しつつ、感想を交えながら発表しました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="408 1303 850 1632">  </div> <div data-bbox="944 1303 1386 1632">  </div> </div> <p style="text-align: center;">発表の様子</p> <p style="text-align: center;">発表した児童たち</p>
普及成果等	<p>生瀬緑の少年団は、今回の優秀賞受賞を受け、公益社団法人国土緑化推進機構が主催する「緑の少年団活動発表大会」に本県代表として推薦されることが決定しました。</p> <p>当指導所では、今後も、緑の少年団の活動を支援するとともに、小・中学校等を対象とした森林・林業体験学習を通じて、多くの児童、生徒が森林・林業への理解を深め、親しみを感じてもらえるよう取り組んでまいります。</p>

タイトル	村松晴嵐「クロマツ林」リジェネプロジェクト ～クロマツ植樹体験～が開催される
年月日	令和5年2月12日（日）、2月16日（木）
場所	東海村立照沼小学校、「八間道路」周辺（那珂郡東海村）
内容	<p>令和5年2月12日及び16日に、東海村において村松晴嵐「クロマツ林」リジェネプロジェクトが開催されました。</p> <p>今年で4年目となる本プロジェクトでは、12日に一般参加者51名、16日に東海村立照沼小学校（以下照沼小と記載）の5、6年生児童ほか46名が参加し、東海村内のクロマツ砂防林に関する勉強会と八間道路（大神宮・村松山虚空蔵堂の森を抜けて村松海岸へと続く白い砂浜の1本道）におけるクロマツ植樹体験が行われました。</p> <p>当林業指導所では、16日に行われた勉強会と植樹体験に指導員として参加したので、その内容を紹介します。</p> <p>まず、勉強会では、照沼小音楽室を会場に、東海村職員がクロマツ林の役割、砂防林の歴史、松くい虫の被害と仕組み、地元で海岸林の保全活動を行っている愛林組合の方々の植樹の取組について電子黒板を使って説明し、その後質疑応答がありました。児童からは、「松葉さらいで集めた松葉で炊いたご飯は美味しいか？」や、「クロマツの寿命は？」などの質問があり、愛林組合の方と当指導所職員が回答しました。</p> <p>次に、八間道路に移動し、「村松海岸砂防林造成の碑」の前でクロマツ林造成に携わった愛林組合の業績について学びました。その後、令和2年度に照沼小5、6年生児童が植樹したクロマツと令和3年度に照沼小の先生方が植樹したクロマツの生育状況を観察した後、植樹会場に向かいました。</p> <p>植樹体験では、東海村職員が抵抗性クロマツのコンテナ苗の植え方の注意点を説明した後、参加者全員で東海村産のクロマツ苗を220本植樹しました。昨年度、新型コロナウイルス感染症の影響で植樹が叶わなかった6年生をはじめ、照沼小の児童たちは先を争うように苗を植樹地点に運び、シャベルで植穴を掘っていました。</p> <p>当林業指導所職員から、植穴に枝や葉などが入ると、苗の根が根鉢から伸びられないことを伝えると、苗の周囲に砂だけを丁寧に埋め戻す姿が見られ、約30分間で220本をあっという間に植樹することができました。</p>



砂防林造成について説明する  
東海村農業政策課職員



児童からの質問に答える  
愛林組合の方々



村松海岸砂防林造成の碑の前での  
学習の様子



令和2年度に植樹したクロマツの様子



クロマツコンテナ苗を植樹する児童



植樹されたクロマツ苗木の様子

### 普及成果等

参加した児童からは、「今日植樹したマツが、自分が大人になった時、周辺のマツ位大きく育っていてほしい」「植え穴を大きく掘りすぎないことが植樹のコツとわかった」「砂防林造成の話聞いて、頑張ってるクロマツを植えようと思った」などの感想が寄せられ、自分たちの植樹活動を通して、村のクロマツ林を守ることに對する自覚と責任が芽生えている様子を感じられました。

当指導所では、このような地域住民と一体となった森林整備活動等の精力的な取組に対し、引き続き支援することで、広く一般県民の森林整備に對する意識の醸成を図っていきたくと考えています。